



幹事会だより

第366回 2月1日(木)いたみホール 参加5人

◆北阪神支部の会員数と組織率

1/31 現在 医科 340人(75%)、歯科 191人(59%)

◆情勢と医療運動対策

学術研究会(2/17)、接遇研修会(4/21)、経営研究会(5月)など支部企画や医療をめぐる情勢について意見交換した。

◆当面の支部活動

接遇研修会「ケーススタディで学ぶ 患者さんとの接遇」

日時 4月21日(土) 15時～ 於・JEC日本研修センター伊丹

講師 マネジメントコンサルタント 松田幸子氏

参加費 1,000円(受講証を発行)

◆次回幹事会

3月1日(木) 14時30分～ いたみホール会議室2

お問い合わせはTEL 078-393-1805 有本・小川まで

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451



〈2月のテーマ〉

月曜日 おねしょ(夜尿症)と子どもの自立

火曜日 歯ぎしり

水曜日 妊娠と痔

木曜日 味が変だ、味がわからない

金土日 かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師を決めよう

〈3月のテーマ〉

月曜日 女性の外陰部のかゆみと治療

火曜日 いつまでするの?子どもの仕上げ磨き

水曜日 立ちくらみ

木曜日 打ち身や切り傷の手当

金土日 手足にぶつぶつができたなら
—掌蹠膿疱症—



☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802 e-mail arimoto@doc-net.or.jp 担当; 有本まで

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2018年 2月25日号 No.279

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

新春政策研究会「2018年診療報酬改定で何が狙われるか」

「安上がり医療」で 医療機関疲弊さらに



安倍政権のもとでの改定はどうかを八木先生(右奥)がていねいに解説

支部は、1月20日に恒例の新春政策研究会をがんこ宝塚苑で開催し、会員ら15人が参加した。「2018年診療報酬改定で何が狙われるか」をテーマに八木秀満先生(協会副議長・保団連審査対策部員)が講演した。

八木先生は、第二次安倍内閣の発足以降5年間で、社会保障費自然増分1.6兆円の削減、診療報酬の3回連続マイナス改定など、改悪が次々行われていることを紹介。「赤字医療機関の割合が増加している」とする昨年の医療経済実態調査結果が示すように、安倍政権の社会保障費抑制施策により医療機関が疲弊している現状を明らかにした。

(次のページに続く)

(前のページから)

2018年改定では、紹介状なく受診する場合に定額負担を求める対象病院の拡大や、入院医療の絞り込みや在宅医療への誘導、後発医薬品の使用促進、主治医となる医療機関を原則一つに限定する「かかりつけ医機能強化」によるフリーアクセスの制限などの「安上がり医療」が狙われていると指摘した。

また、本体部分は0.55%のプラスとなったものの、プラス改定による医療改善からはほど遠く、地域医療を守る医療機関の経営を守り、患者が安心して受診できる社会保障制度を作るためには、診療報酬引き上げ・患者負担の軽減を求める運動が重要であると訴えた。

参加者からは、「かかりつけ医機能強化」により、かかりつけ医の定義にあてはまらない診療科との格差が生じる懸念や、医科歯科連携の強化として診療情報提供料の歯科医療機関連携加算の要件が緩和されたが、患者情報や診療方針の共有など連携上の課題はまだ多い、などの意見が出された。

2018年診療報酬改定研究会 ◀北阪神地域 診療所向け▶

*別途送付(2月末~3月初旬発送予定)の『案内ハガキ』を当日必ずお持ちください。医科『点数表改定のポイント』、歯科『2018年改定の要点と解説』1冊と無料で交換します。追加冊子は、有償にて販売します。

*スタッフの方もご参加いただけます。

*他会場、病院・有床診療所向け会場は、兵庫保険医新聞2月25日号、または協会ホームページ(<http://www.hhk.jp/>)『2018年度診療報酬・介護報酬改定特設ページ』をご覧ください。

医科 日時 3月22日(木) 14時~

歯科 日時 3月22日(木) 19時~

会場 (医科歯科いずれも)

JEC 日本研修センター伊丹 大会議室

(伊丹市中央3-1-17 SRビル伊丹6階、TEL:072-784-4848
阪急伊丹駅より徒歩4分、JR伊丹駅より徒歩7分 伊丹シティホテル北側)

協会ホームページで「2018年度診療報酬・介護報酬改定特集」更新中!!

行政関係資料や、今年度の診療報酬・介護報酬改定に関するよくある質問などを随時掲載

<http://www.hhk.jp/kaitei2018/>

宝塚社保協 市担当者との懇談

国保・介護保険などの改善を要望

社会保障をよくする宝塚の会(副会長・中井通治支部長、脇野耕一副支部長)は1月25日に、社会保障の拡充を求めて宝塚市との懇談(自治体キャラバン)を行った。社保協加盟団体から17人が参加し、国保、介護、生活保護等、市の社会保障施策の充実を求め、宝塚市担当者らと意見を交換した。懇談内容の要旨は下記の通り。



社会保障施策について、市担当者(手前)と意見交換

【国民健康保険】

社保協:2016年の国保税滞納による財産の差し押さえ世帯数は266世帯、1300万円超となっているが、預貯金や年金など、生活に支障が出るような差し押さえは起きていないか。

市:被保険者からの聞き取り等による現状把握や窓口での分納相談など丁寧に行っており、機械的に差し押さえはしていない。生活に必要な財産の差し押さえは禁じられている。

社保協:預貯金額を超える滞納があれば全額差し押さえられる可能性もある。差し押さえの明確なルールを作るべきだ。

【介護保険】

社保協:他市では「自立支援」を理由に、介護保険からの「卒業」という名目で、サービスからの切り離しが起こり問題となっている。宝塚市はどのような考えで臨んでいるのか。

市:「自立支援」という言葉だけが独り歩きするべきではないと考えている。ケアマネジャーなど多職種間での共通認識を一致させ連携することが重要だ。

社保協:利用者一律に見るのではなく、それぞれの実態に即して寄り添い、必要なサービスが受けられるようにしてほしい。

【がん検診】

社保協:市は4年間で社会保障分野も含め10億3,000万円の事業費をカットする方針を出した。肺がん検診の委託料や一部負担金の見直しが検討されているが、がん検診の受診率を向上させる目標と矛盾しているのではないか。

市:委託料に関しては、他の検診と同時に受診した場合、検診費用に含まれる初診料、再診料相当分の重複が指摘されたため見直す。また、肺がん検診の通年実施を要請しているが、読影する医師の確保が困難であることも事実。

社保協:予防、早期発見が重要。検診事業に力を入れてほしい。